



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア  
コード番号 3773 URL <https://www.advanced-media.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営推進本部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,328	22.9	964	58.8	1,001	57.0	671	49.5
2023年3月期第3四半期	3,522	16.3	607	69.4	637	48.0	449	269.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,031百万円 (185.5%) 2023年3月期第3四半期 361百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	43.33	43.29
2023年3月期第3四半期	26.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,585	10,622	68.0
2023年3月期	14,828	9,707	65.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 10,590百万円 2023年3月期 9,668百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		16.00	16.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当予想については、現時点で未定であります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	15.8	1,200	11.0	1,200	7.0	900	3.7	58.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)  
特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社アミサボを連結子会社として連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	18,392,724 株	2023年3月期	18,392,724 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,866,633 株	2023年3月期	2,939,433 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	15,495,643 株	2023年3月期3Q	17,058,866 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年3月期までをBSR展開期、2026年3月期までをBSR拡大期とし、BSR拡大期の最終年度では売上高100億円、営業利益率30%の実現を目指しております。

そのような計画のもと、当連結会計年度につきましては、BSR展開期最終年度で伸ばさせた既存のフロー&ストックビジネスを土台に、展開中のAmiVoiceエンジン・プラットフォーム（ACP含む）に加え、営業業務の支援、文字起こし業務支援、DX化支援等の各種プラットフォームを市場へ導入することでBSR拡大への足掛かりを築くといった役割を果たしてまいります。

当第3四半期においては、各企業における業務効率化にともなうDX推進のニーズに対してAI音声認識AmiVoice® の各種製品が伸びました。また、BSR展開期に取り組んだストックビジネスの売上比率の向上によって増収増益し売上高、営業利益、経常利益において第3四半期過去最高を実現することができました。

売上高に関しましては、BSR1（第一の成長エンジン）において、CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増収し前年同期比24.6%増、BSR2（第二の成長エンジン）においては前年同期比8.3%増となりました。その結果、当社グループ全体では、前年同期比22.9%の増収となりました。

損益に関しましては、営業利益につきまして、BSR1（第一の成長エンジン）において、CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が大幅に増益し前年同期比で53.3%の増益、BSR2（第二の成長エンジン）においては赤字幅が若干増加しました。その結果、当社グループ全体では、前年同期比で58.8%の大幅な増益となりました。営業利益の増益により経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も増益いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高4,328百万円（前年同期は売上高3,522百万円）、営業利益964百万円（前年同期は営業利益607百万円）、経常利益1,001百万円（前年同期は経常利益637百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益671百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益449百万円）となりました。

音声事業の各分野別の状況は、以下のとおりであります。

#### BSR1の状況（連結調整前）

	売上高	(前年同期比)	営業利益	(前年同期比)
BSR1（第一の成長エンジン）	3,882百万円	24.6%増	1,067百万円	53.3%増

#### CTI事業部（BSR1）

大手SIerを中心とした販売パートナーと連携しコンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション「AmiVoice® Communication Suite」の販売が好調に推移しました。また、マルチデバイス対応とOpenAI社が提供する「ChatGPT」との連携機能を新たに搭載した、AI音声対話アバター「AI Avatar A0I」をリリースいたしました。

ストック比率：第2四半期末65.3%→当第3四半期末69.4%

ライセンス数（累計）：第2四半期末70,757→当第3四半期末72,130

#### VoXT事業部（BSR1）

AI音声認識AmiVoice® を活用した議事録作成・文字起こし支援アプリケーション/サービスの需要が増大し、ユーザー数が増加いたしました。また、AI音声認識文字起こし支援アプリケーション「AmiVoice® ScribeAssist」にMicrosoft社の「Azure OpenAI Service」を活用し自動要約を行える「AI要約（β）powered by GPT-3.5」のユーザートライアルを進めました。

ストック比率：第2四半期末96.5%→当第3四半期末96.4%

主力2製品のライセンス数：第2四半期末3,226→当第3四半期末3,658

#### 医療事業部（BSR1）

2024年4月から開始される「医師の働き方改革」で、医師の勤務時間の適正化に向けた取り組みが必要となっております。それにともない、病院における医師や看護師、医療従事者の業務効率化へのニーズが高まっており、主力製品であるAI音声入力ソフト「AmiVoice® Ex7」シリーズや医療向けAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice® iNote」の販売が堅調に推移しました。

ストック比率：第2四半期末35.8%→当第3四半期末48.0%

ライセンス数（累計）：第2四半期末50,851→当第3四半期末51,633

SDX事業部（BSR1）

様々な領域特化AI音声認識エンジンを利用可能とするAPIなどを提供するボイスタックプラットフォーム「AmiVoice® Cloud Platform（ACP）」の、利用企業数・利用時間数が増加しました。

また、営業ロールプレイングによる実践的なセルフトレーニングと、AIを活用した自動採点機能などにより、営業担当者のトークスキルの向上を支援するクラウド型トレーニングプラットフォーム「AmiVoice® RolePlay」の営業活動を進めました。

ストック比率：第2四半期末87.4%→当第3四半期末83.0%

API及びSDKのユーザー数（累計）：第2四半期末3,332→当第3四半期末3,565

BSR2の状況（連結調整前）

	売上高	（前年同期比）	営業利益	（前年同期比）
BSR2（第二の成長エンジン）	462百万円	8.3%増	△104百万円	—

BDC本部（旧ビジネス開発センター）・海外事業部（BSR2）

BDC本部は、建設業界において2024年4月から時間外労働時間の上限規制が適用される「2024年問題」で業務効率化が求められている中で、建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム（SIP）」のユーザー数を増加させました。また、同サービスを活用した人材サービス「AISH<sup>注</sup>サービス」を拡大させるために、連結子会社株式会社アミサポを設立いたしました。

ライセンス数（累計）：第2四半期末49,173→当第3四半期末52,133

海外事業部は、売上高の拡大と収益改善を進めました。

注）AISH（AI Super Humanization）とは、AIが人を助け、また、人がAIを使って能力を高めていくことを言う。

連結子会社等（BSR2）

AMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）は、主要顧客に対する案件獲得を進めました。

株式会社速記センターつくばは、自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進めました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ746百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が213百万円、預入期間満了により金銭の信託が200百万円、受取手形及び売掛金が144百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,503百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の取得や評価替えにより1,388百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、15,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ757百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ410百万円増加いたしました。これは主に売上に関する前受金が292百万円、未払金が117百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ568百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が576百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は10,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ915百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金365百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益671百万円及び剰余金の配当247百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.0%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日付公表の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,755,655	7,542,418
受取手形及び売掛金	945,464	801,065
金銭の信託	200,000	-
電子記録債権	21,597	21,608
商品及び製品	66,250	125,310
仕掛品	6,648	10,548
原材料及び貯蔵品	50,952	42,076
未収入金	16,901	20,195
預け金	48,989	-
その他	522,516	325,945
貸倒引当金	△671	△941
流動資産合計	9,634,307	8,888,228
固定資産		
有形固定資産		
建物	248,597	291,883
減価償却累計額	△60,841	△75,108
建物(純額)	187,756	216,775
その他	377,515	505,784
減価償却累計額	△273,764	△308,004
減損損失累計額	△13,134	△9,666
その他(純額)	90,616	188,113
有形固定資産合計	278,372	404,888
無形固定資産		
ソフトウェア	549,512	498,853
ソフトウェア仮勘定	81,210	191,929
その他	115	115
無形固定資産合計	630,838	690,899
投資その他の資産		
投資有価証券	2,105,488	3,493,927
敷金及び保証金	205,405	226,870
長期前払費用	476,969	498,652
金銭の信託	956,950	973,350
繰延税金資産	218,953	57,612
破産更生債権等	-	21,835
その他	333,461	351,095
貸倒引当金	△12,355	△21,835
投資その他の資産合計	4,284,873	5,601,508
固定資産合計	5,194,084	6,697,296
資産合計	14,828,392	15,585,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	66,761	101,551
未払金	117,435	234,850
未払法人税等	217,873	195,786
前受金	1,027,918	1,320,425
1年内返済予定の長期借入金	768,480	768,480
賞与引当金	25,081	11,670
その他	139,178	140,574
流動負債合計	2,362,729	2,773,338
固定負債		
長期借入金	2,680,160	2,103,800
資産除去債務	77,710	85,541
固定負債合計	2,757,870	2,189,341
負債合計	5,120,600	4,962,680
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,930,315	6,930,315
資本剰余金	5,727,668	5,796,552
利益剰余金	161,689	585,938
自己株式	△2,791,137	△2,722,010
株主資本合計	10,028,536	10,590,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△364,982	591
為替換算調整勘定	4,494	△963
その他の包括利益累計額合計	△360,487	△372
新株予約権	39,743	32,421
純資産合計	9,707,792	10,622,845
負債純資産合計	14,828,392	15,585,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,522,496	4,328,604
売上原価	904,258	1,086,011
売上総利益	2,618,238	3,242,592
販売費及び一般管理費	2,010,976	2,278,247
営業利益	607,261	964,345
営業外収益		
受取利息	2,728	5,614
受取配当金	16,394	35,613
為替差益	9,701	9,591
投資事業組合運用益	10,307	1,299
雑収入	2,774	2,541
営業外収益合計	41,906	54,659
営業外費用		
支払利息	4,419	6,796
支払手数料	5,296	-
貸倒引当金繰入額	-	9,480
雑損失	1,897	1,453
営業外費用合計	11,613	17,730
経常利益	637,554	1,001,274
特別利益		
投資有価証券売却益	13,277	-
新株予約権戻入益	1,515	858
固定資産売却益	-	81
債務保証損失引当金戻入額	19,500	-
特別利益合計	34,292	939
特別損失		
固定資産除却損	902	398
関係会社清算損	37	-
特別損失合計	940	398
税金等調整前四半期純利益	670,906	1,001,815
法人税等	221,848	330,314
四半期純利益	449,058	671,501
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,058	671,501

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	449,058	671,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,838	365,573
為替換算調整勘定	54	△5,458
その他の包括利益合計	△87,784	360,115
四半期包括利益	361,274	1,031,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,274	1,031,616

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月28日開催の取締役会決議により、2023年7月21日に譲渡制限付株式報酬として自己株式60,000株を処分しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が57,627千円増加、自己株式が56,972千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,796,552千円、自己株式が△2,722,010千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。